

宇部市総合計画審議会教育文化分科会（第3回）議事録 【要旨】

日 時 平成21年1月29日（木）15：15～17：00

場 所 市役所2階 第4会議室

出席者（委員）玉重彰彦 中野リエ子 園 絹枝 三原節子
（事務局）新総合計画策定室主査 篠原 功 ランドブレイン株式会社 石村 壽浩
（専門部会）教 育 次 長 福重和巳

1 教育文化分野における現状把握及び今後の方向性について

<当分科会での議論の進め方について>

当分科会では、外部環境は、ある程度固定的なもののため、当面は「弱み」「強み」を中心に検討していくこと、及び、教育文化分野は範囲が広いことから、3つの分野（学校・幼児教育の充実、社会教育の充実、地域文化の振興・継承）に分けて順次整理し、最後に1つの分析シートにまとめることを、事務局から提案し、各委員も賛成した。

<「学校・幼児教育の充実」における「強み」「弱み」の整理について>

ランドブレイン社の提案した分析の例の「弱み」「強み」の妥当性を順番に検証し、議論した。

（委員） 子供が減っていることは、「強み」にもなるという意見もあるが、きめ細かい教育ができたところで学力が大幅に上がるわけではない。それより、人間関係が限られることなどの問題の方が多い。「弱み」として整理したほうがよい

（委員） ふれあいセンターで地域の人と学校教育が結びついている。

（委員） 校区ごとにふれあいセンターがあることを、宇部市の「強み」として追加する。

（専門部会） 全国的にも宇部だけと聞いている。学校に対する校区の想いは強い。校区のコミュニティの核となっており、「子ども委員会」のような活動も行なわれている。

（委員） 「産官学連携のまちづくり」は「強み」であるが、一般市民はあまり関わっていないので実感がない。

（委員） 「彫刻のまちづくり」は「強み」ではあるが、市民があまり関心をもっていない。核となる彫刻を設置したり、彫刻展と連携して、学校で彫刻に関する学習を行うなどの取組が求められる。

（委員） 子供は、まちに彫刻があることは当たり前だと思っており、特別なものだと思っていない。「どうして宇部に彫刻があるのか」などを分かりやすく伝えていく必要がある。

（委員） 「姉妹都市や友好都市との国際交流」で子供が短期間でも国外での生活を経験することは非常に貴重である。外国を知るとともに、日本のことを尋ねられ、日本を知ることになる。

- (委員) 「環境の取組」は「強み」であるが、グローバル 500 賞がどのような賞なのか、宇部市の取組がどれだけ評価が高いのかなどは、市民に知られていない。
- (委員) 宇部市の先人がどのような取組をしてきたかを知ることができる展示やモニュメントなどが無いと、新しい市民に想いが伝わっていかないのではないかな。
- (専門部会) 学校でも、環境教育や緑のカーテンなどの取組みをしているが、これは全国的な取組であり、宇部市としてもっと特色ある取組をする必要があるのではないかなという声もある。
- (委員) 地域文化を大事にすることが重要である。しかし、学校での学習時間が短いなどの問題がある。
- (専門部会) 学校教育の中だけで解決しようとするとう無理があるので、社会教育で補っていく必要がある。
- (委員) すべてを学校教育に委ねようとするから無理が出る。核家族化による家庭教育の問題が根元にある。
- (委員) 市民の間でも、何が宇部の文化、地域の文化なのかが分からないのではないかな。
- (専門部会) 何に限らず、宇部市で生まれて長い間取り組み、伝えられてきたものを文化・伝統と考え、これを教育に活かし、子供に伝えていけばいいのではないかな。
- (委員) 新しい文化活動、行事などに取り組んでいる地域もあるが、これも文化につながっていくと思う。
- (専門部会) 「小中学校の校舎の老朽化」の弱みを検証するにあたっては、宇部市の学校数が県内で人口比率でも、面積比率でも、最も少ないという事実を踏まえていただきたい。他の市町では、それ以上の学校を維持している。
- (委員) 空き教室や空き校舎の問題はないのか。
- (専門部会) 空き教室（余裕教室）を総合学習、生活科、PTA会議室などの新しい用途に活用したり、学童保育など地域のために転用するなどの調整をしている。
- (専門部会) 現在予算上の問題から学校の建て替えペースが落ちている。今のペースでは市内 37 校の建て替えまで校舎が持たないので、財政状況好転の時点で元に戻したい。
- (委員) 学童保育については、施設や設備などの環境面でも問題はあるが、待機児童がなく、いつでも受け入れてもらえることは「強み」である。
- (委員) 障害を持つ子供の受け入れには、職員配置の問題があり、今後の課題である。
- (委員) 「若者の住みやすさ、愛着が低い」「若者の転出意向が高い」は「学校・幼児教育」にはあまり関係がない。「社会教育の充実」の中で整理する。

<次回に向けて>

次回までに「社会教育の充実」、「地域文化の振興・継承」について、各自で「強み」「弱み」の整理を行い、次回の分科会で各自の整理結果を持ち寄り、全体の整理を行うこととする。

※次回開催 平成 21 年 2 月 26 日(木) 15:15～ 宇部市総合福祉会館